

1/17 大村市地域福祉計画の策定に関する提言書が提出されました



大 村市地域福祉計画策定委員会が「大村市地域福祉計画の策定に関する提言書」をまとめ、松本市長に答申しました。

平成20年8月に発足した同委員会は、計画の取り組みや方向性などについて、3年にわたり活発な議論を重ねてこられました。

市では、同提言書をもとに、少子高齢化や核家族化、家族や地域での人間関係の希薄化など、地域社会の変化で生じている行政だけでは解決が難しい課題に対し、地域協働型の新たな支え合いの仕組みづくりをまとめた「大村市地域福祉計画」を策定していきます。

1/23 児童虐待問題研修会を開催しました



近 年社会問題化している、児童虐待問題について正しい知識と予防に対する地域の取り組みを学ぼうと、「児童虐待問題研修会」を市コミセンで開催しました。

これは、市と大村市社会福祉協議会が主催して、山梨県の児童養護施設長の山田勝美氏を講師に迎え、実際の事例などを交えて講演いただきました。

研修会には、市民をはじめ、民生児童委員や関係職員など約150人が参加し、児童虐待を予防するには、地域が子どもを見守り、早期発見・対応することの大切さを呼びかけました。



祝 地域創造大賞(総務大臣賞)受賞

大村市体育文化センター
(シーハットおおむら)

市体育文化センター(シーハットおおむら)①が、地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞しました。1月21日、東京グランドアーク半蔵門で行われた表彰式には、久保副市長と村嶋寿深子館長が出席し表彰されました。②

地域創造大賞とは、文化的な表現活動の環境づくりに功績があった公立文化施設を顕彰するもので、本年度は全国の8施設が受賞。③県内では初めての受賞施設となります。

シーハットおおむらでは、県内在住・出身の演奏家がメンバーの「OMURA室内合奏団」④を平成16年4月に結成。県内初の本格的な合奏団として、県内外で出張演奏やクリニック、アウトリーチ事業などを展開しています。

また、市民ミュージカル⑤などの市民参加型事業にも着手。平成14年から毎年、ふるさとをテーマにしたオリジナルミュージカルを上演しており、平成18年4月には、ミュージカル劇団「夢桜」も立ち上げ、市内のイベントなどに参加しています。

こうした音楽活動を通して、地域の文化力向上に貢献したことが評価され、今回の受賞となりました。村嶋館長は「シーハットの活動を通して、一人でも多くの市民の皆さんに楽しんでいただきたい。受賞を次への励みに頑張っていきます。」と受賞の喜びを話されました。